EPSON
EXCEED YOUR VISION

LP-M6000シリーズ

取扱説明書４
ユーザー認証編

本書は、オプションのネットワークI/Fカード PRIFNW7S とソフトウェアの Offirio SynergyWare 認証プロキシ（以降「認証プロキシ」と記載）と市販の認証装置を組み合わせて、ユーザー認証コピーやユーザー認証スキャンを実現するための方法を説明しています。

必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

NPD3207-00

マークの意味

!重要　使用上、必ず守っていただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows Server 2003 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Server 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition（32 ビットバージョン）
Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition（32 ビットバージョン）
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 2000 Server」、「Windows Server 2003」と表記しています。

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M6000　：標準モデル
  LP-M6000A：ADF モデル
  LP-M6000F：ファクスモデル
- 本書では、LP-M6000A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft, Windows, Windows Server, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

JAVA

This product includes code licensed from RSA Security, Inc.
Some portions licensed from IBM are available at http://oss.software.ibm.com/icu4j/.
Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems. Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

FeliCa

FeliCa（フェリカ）および PaSoRi（パソリ）は、ソニー株式会社の登録商標です。

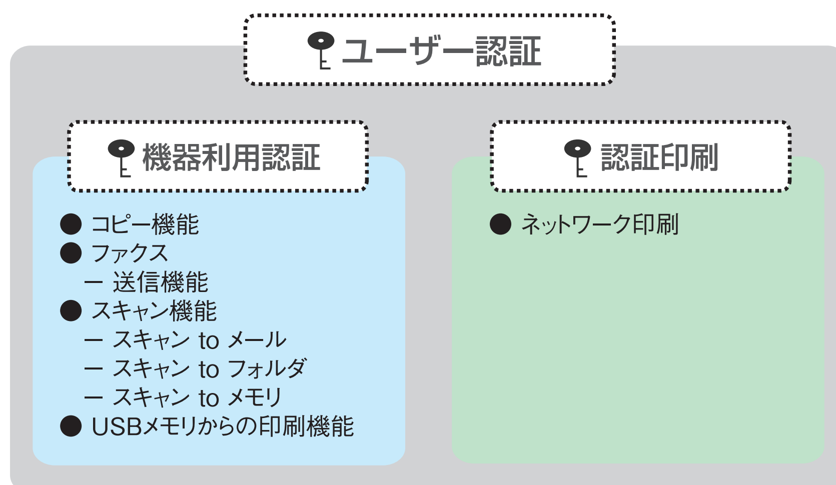
もくじ

ユーザー認証とは

本製品を使用する際に、市販の認証装置と ID カードなどを利用して、登録されたユーザーであるか確認します。登録されたユーザーであることが認証されると利用制限されていたコピーやスキャンなどの機能が使用できます。
本書では、最もシンプルな構成でユーザー認証するための方法を説明します。

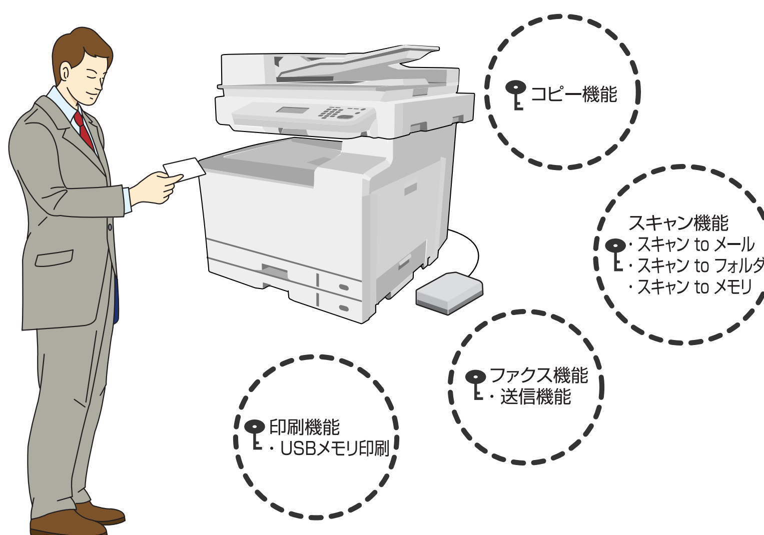
機能概要

本製品を使用すると次の機能が利用できます。



機器利用認証

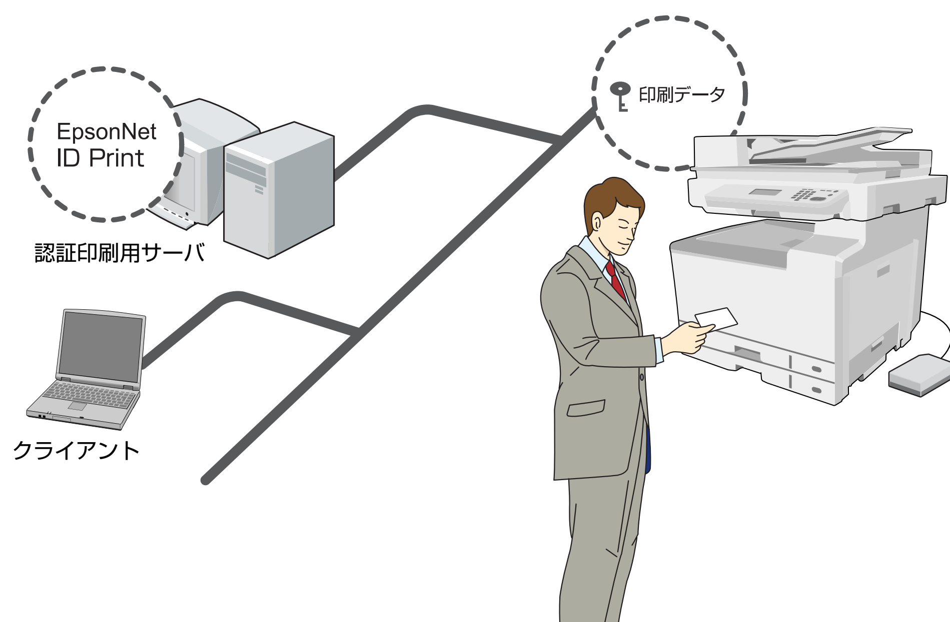
本製品の操作パネルから実行する機能を利用する際に認証します。



参考
- 機器利用認証を使用する場合、すべての機能で認証が必要になります。各機能個別に認証を利用するかどうかは設定できません。
- 次の機能は、機器利用認証機能を使用する際に、操作パネルの［ユーザー認証機能］で［認証ユーザーのみ許可］を選択している場合は、常時利用できません。［ネットワークユーザーを許可］を選択している場合は、常時利用できます。
  * コンピュータからの印刷機能（認証印刷は［認証ユーザーのみ許可] 選択時でも利用可能です。）
  * コンピュータからのスキャン機能
  * コンピュータからのファクス送信

機器利用認証＋認証印刷（ID Print）

機器利用認証で認証をした後、パネル操作をしてから印刷を開始します。認証印刷用ポートの作成など、サーバ、クライアントの設定が必要です。



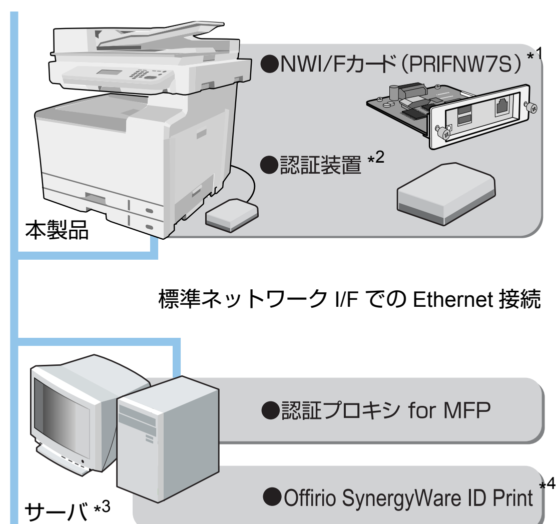
参考　認証印刷は印刷ファイル自体を暗号化するものではありませんので、通信経路上またはコンピュータに一時的に保存されているデータは保護されません。

必要なオプションおよび装置

機器利用認証

機器利用認証および認証印刷に共通して必要な環境です。機器利用認証の準備や手順は本書で説明します。

基本構成

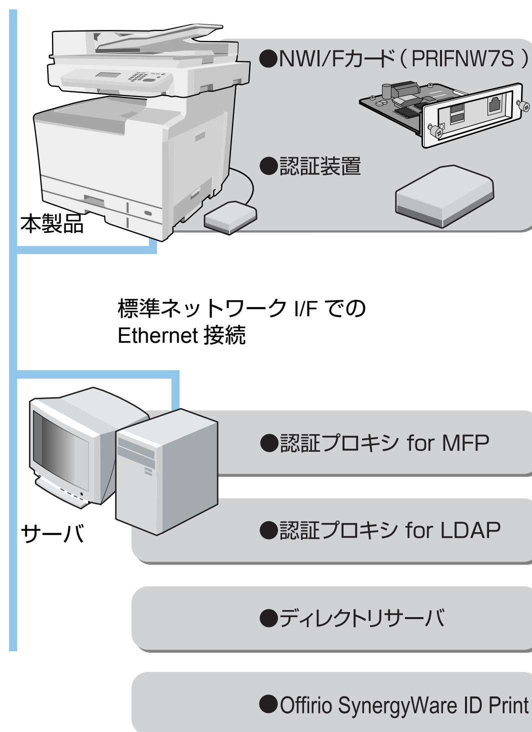


*1：認証装置を設定するときは、PRIFNW7S を Ethernet 接続します。
*2：USB 接続の認証装置を使用するときは、PRIFNW7S の USB コネクタに接続してください。
*3：ソフトウェアは、それぞれ異なるコンピュータにインストールしても使用できます。
*4：Offirio SynergyWare ID Print は認証装置の設定にのみ使用します。

ハードウェア	
ネットワークI/Fカード（PRIFNW7S）	本製品と認証装置を接続するために使用します。 本 I/F カードをネットワーク環境に接続しただけでは機器利用認証はできません（ファームウェアバージョンが 1.30 以降）。
認証装置	ユーザーを認証するための市販のカードリーダや指静脈認証機器です。使用できる認証装置は、エプソンのホームページで確認してください（http://www.epson.jp/）。 また、PRIFNW7S との接続方法や認証用メディアの作成などは、認証装置の取扱説明書をご覧ください。 本書では、USB 接続の PaSoRi を使用する前提で説明します。
ソフトウェア	
認証プロキシ for MFP（SWNPV15）	機器利用認証するユーザーの登録や各種動作環境を設定できます。サーバにインストールして動作させます。
Offirio SynergyWare ID Print（PRIFNW7S に同梱）	認証装置を使用できるように設定します（バージョン 1.5b 以降）。

ディレクトリサーバと連携する際の構成

認証プロキシ for MFP では、ディレクトリサーバのユーザーを認証ユーザーとして登録できます。ディレクトリサーバと連携するには認証プロキシ for LDAP が必要です。連携方法については認証プロキシ for LDAP および認証プロキシ for MFP の取扱説明書を参照してください。



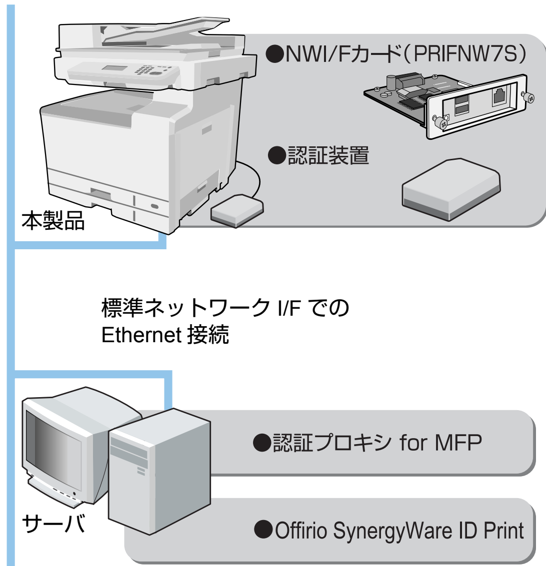
ハードウェア	
ディレクトリサーバ	クライアント（ユーザー、グループ）、ファイルや周辺機器へのアクセス権などを管理するサーバです。 利用できるディレクトリサーバかどうかは、認証プロキシ for LDAP の取扱説明書を参照してください。
ソフトウェア	
認証プロキシ for LDAP（SWNPV15）	ディレクトリサーバの情報を認証プロキシ for MFP に中継します。 マクロ文で複雑な認証条件を設定することができるため、環境に応じた高度な認証処理ができます（バージョン 1.5a 以降）。
Offirio SynergyWare ID Print（PRIFNW7S に同梱）	認証装置を使用できるように設定します（バージョン 1.5b 以降）。

参考　オプションの認証デバイス台（LPNSD1）を本製品に取り付けると、認証装置を設置できるようになります。

機器利用認証＋認証印刷

認証印刷をするには認証印刷用ポートなどの設定が必要です。

認証印刷の準備や方法は、Offirio SynergyWare ID Print の取扱説明書をご覧ください。

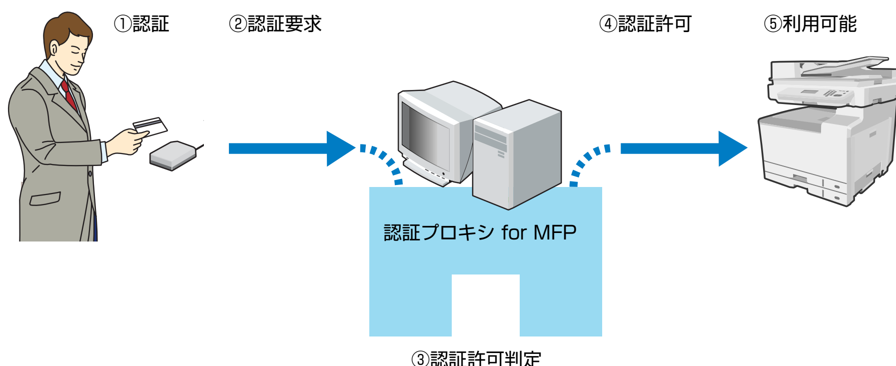


ソフトウェア	
Offirio SynergyWare ID Print（PRIFNW7S に同梱）	認証印刷として実行された印刷データを一時的に保存したり、認証印刷の動作環境を設定します。サーバにインストールして動作させます（バージョン 1.5b 以降）。

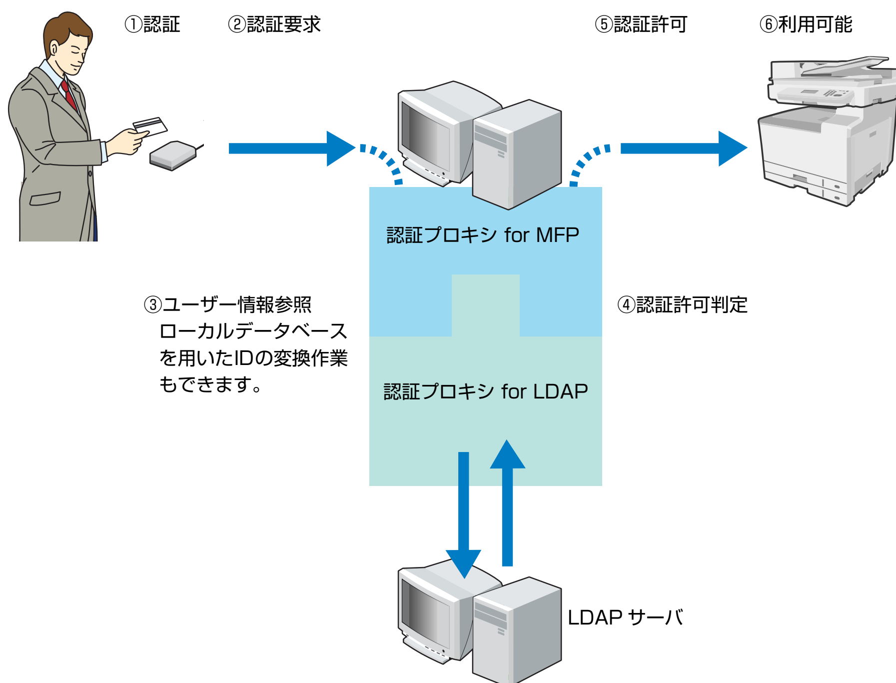
参考　PRIFNW7S をネットワークに接続して、Offirio SynergyWare ID Print を使用することでも認証印刷を利用できますが、機器利用認証機能は使用できません。

ユーザー認証動作の流れ

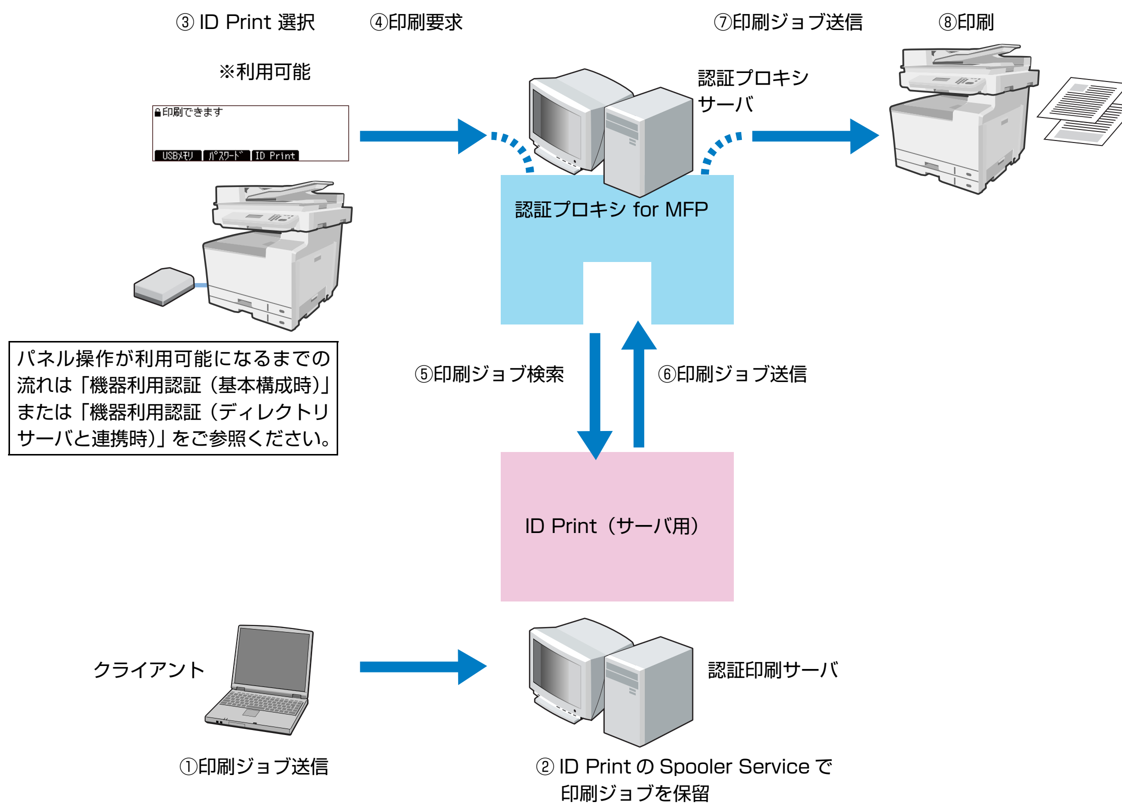
機器利用認証（基本構成時）



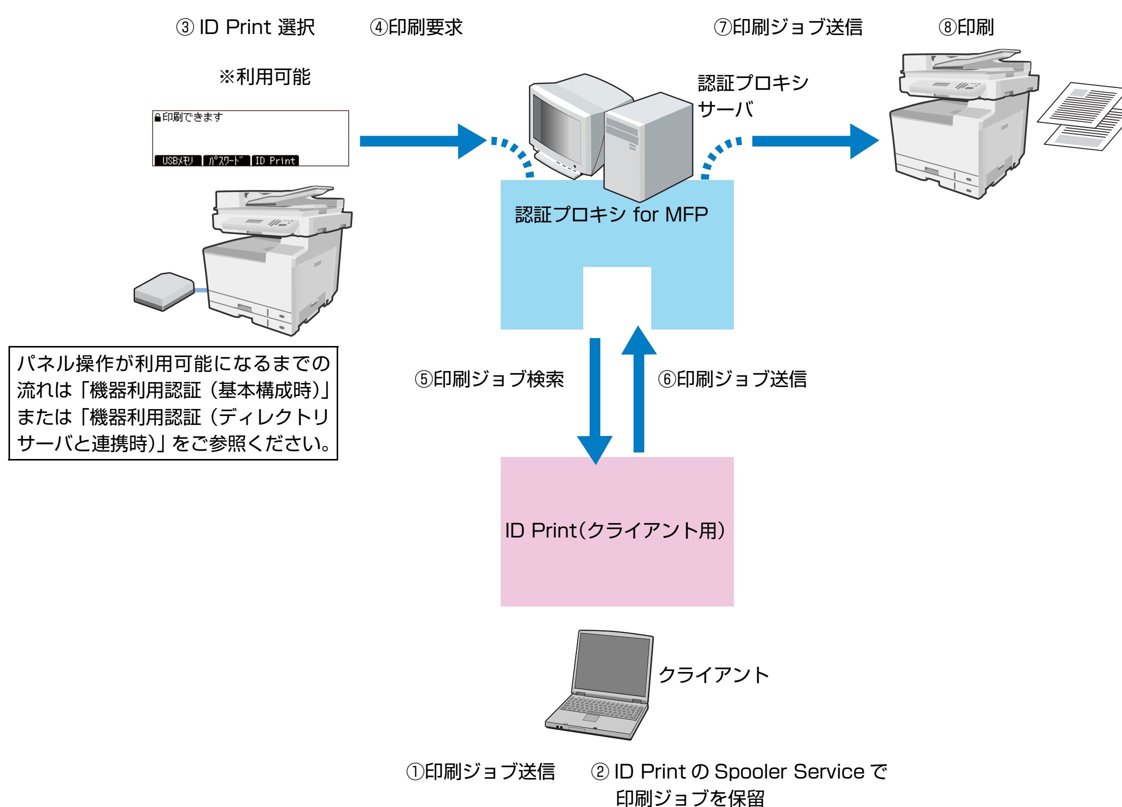
機器利用認証（ディレクトリサーバと連携時）



機器利用認証＋認証印刷(サーバ経由の場合)



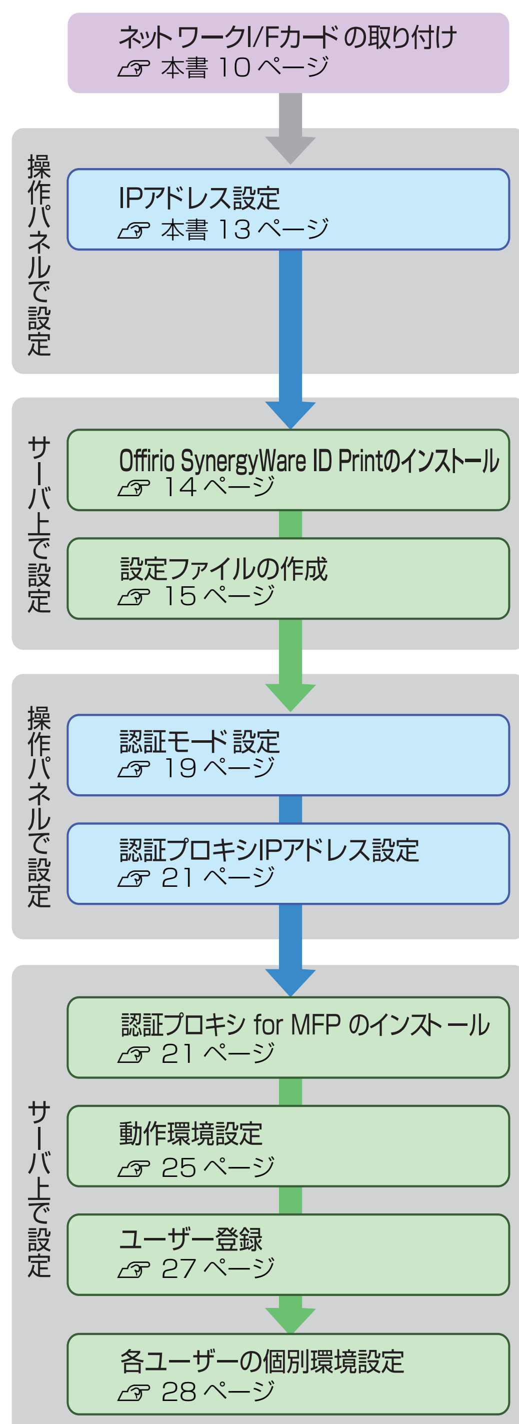
機器利用認証＋認証印刷(直接印刷の場合)



セットアップ

セットアップの流れ

本製品を使って機器利用認証を利用するまでの、セットアップの流れは以下の通りです。



ネットワーク I/F カードの取り付け

ネットワーク I/F カード（PRIFNW7S）を取り付ける手順を説明します。

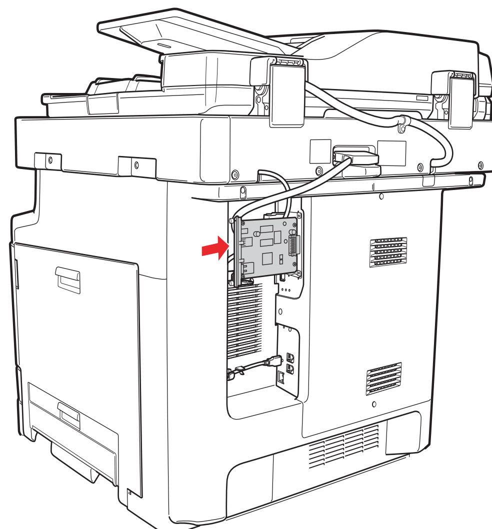
1　すでに本製品を使用中のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

> **! 重要**
> ネットワーク I/F カードの取り付け、取り外しをするときは、本製品の電源を必ず切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かないと、故障の原因になります。

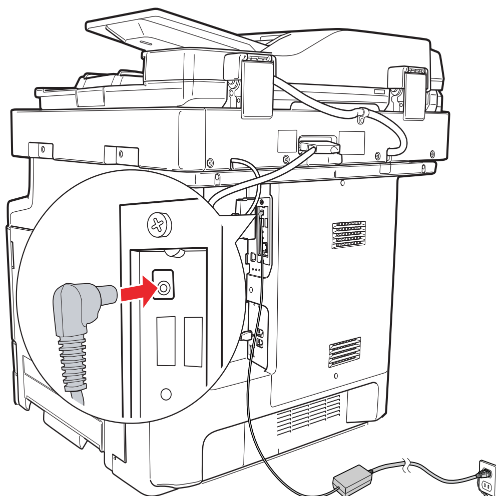
2　コネクタカバーを取り外して、ネットワーク I/F カードを装着します。

① 本製品のコネクタカバーを外します。
取扱説明書 1 セットアップ編（冊子）「プリンタ部オプションの取り付け」

② ネットワーク I/F カードをスロットに装着し、ネジで固定します。

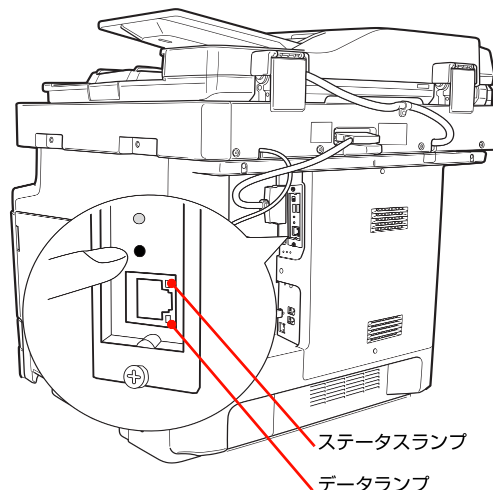


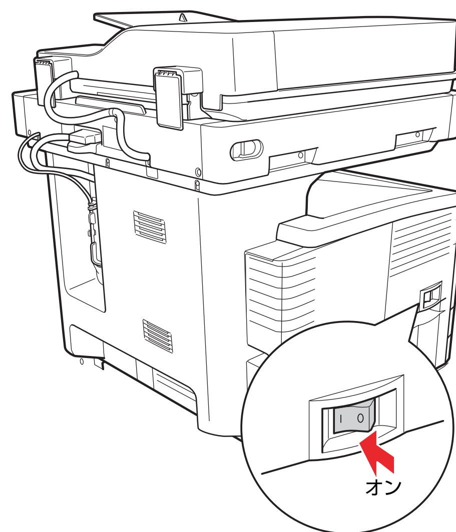
3 ネットワークI/FカードのUSBコネクタに認証装置を取り付ける際は、ネットワーク I/F カードに付属の AC アダプタを取り付け、電源プラグをコンセントに差し込みます。



4 ネットワーク I/F カードを工場出荷時の状態に戻します。

［ステータスシート（黒色）］ボタンを押したまま本製品の電源を入れます。
データランプが点灯した後 2 つのランプが一旦消灯し、その後ステータスランプが点灯に変わるまで、［ステータスシート（黒色）］ボタンを押し続けてください。
ステータスランプが点灯に変わったことを確認した後、［ステータスシート（黒色）］ボタンから指を離します。





5 本製品の電源を切ります。

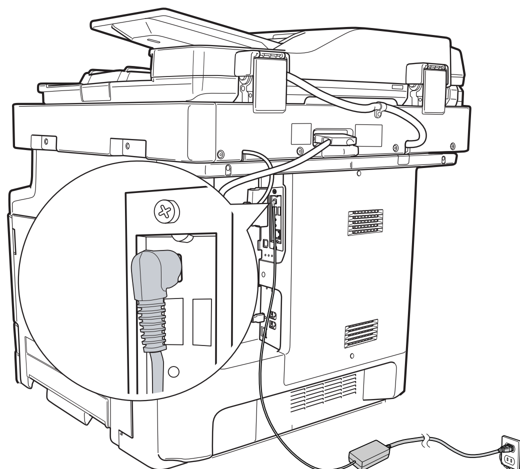
以上で終了です。

次に認証装置を接続します。

認証装置の接続

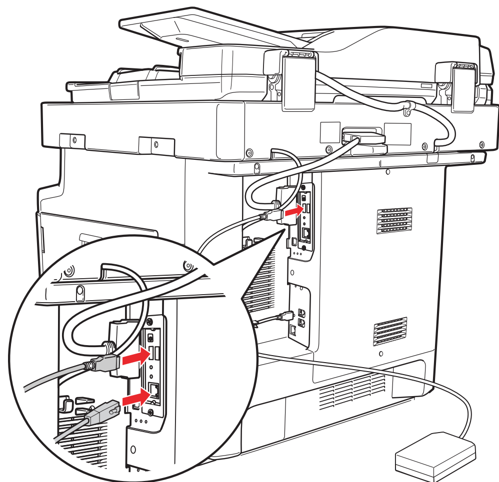
認証装置を接続します。

1 **ネットワークI/FカードのACアダプタに接続された電源プラグがコンセントに接続されていることを確認します。**



2 **ネットワークI/FカードにLANケーブルと認証装置を接続します。**

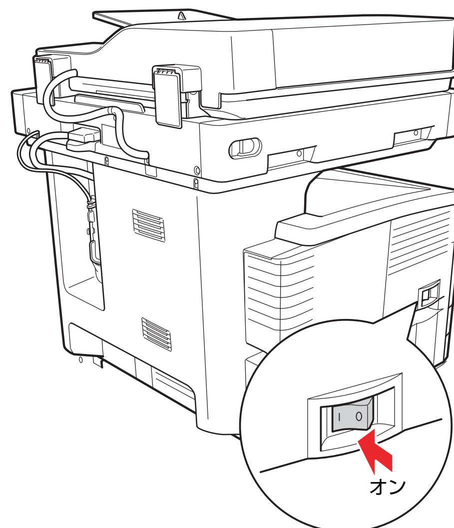
認証装置の接続方法は、認証装置に添付の取扱説明書を参照してください。



!重要

標準のネットワークインターフェイスと増設したネットワークインターフェイスを同時にネットワーク接続したときのネットワーク印刷は保証しません。

3 **本製品の電源を入れます。**



以上で終了です。

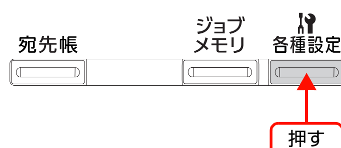
次に IP アドレスを設定します。

IP アドレスの設定

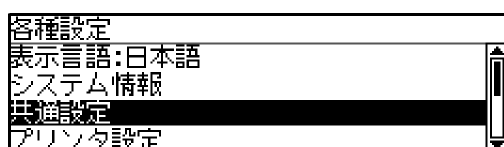
装着した PRIFNW7S に IP アドレスを設定します。

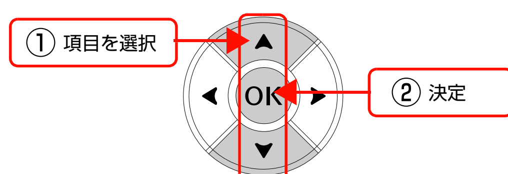
標準のネットワーク I/F に IP アドレスが設定されていないときは、同様の手順で設定してください。

1 **［各種設定］ボタンを押して、［各種設定］メニューを表示します。**



2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**





3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［I/F カード設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

標準のネットワーク I/F を設定するときは［ネットワーク設定］を選択して［OK］ボタンを押します。

4 **［I/F カード : 使う］が表示されていることを確認します。［I/F カード : 使わない］になっている場合は、以下の手順で設定を変更します。**

① ［OK］ボタンを押します。

② ［▲］または［▼］ボタンで［使う］を選択し、［OK］ボタンを押します。

標準のネットワーク I/F を設定するときは［ネットワーク I/F: 使う］になっているか確認します。

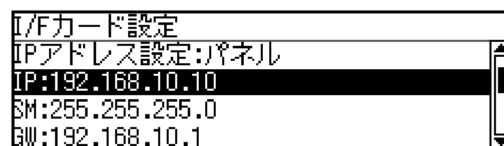
5 **［▲］または［▼］ボタンを押して［IP アドレス設定＝パネル］が表示されていることを確認します。［IP アドレス設定＝パネル］になっていない場合は、以下の手順で設定を変更します。**

① ［OK］ボタンを押します。

② ［▲］または［▼］ボタンで［パネル］を選択し、［OK］ボタンを押します。

6 **［IP］／［SM］／［GW］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［IP］／［SM］／［GW］からいずれかを選択し、［OK］ボタンを押します。



設定項目	説明
IP	IP アドレスを設定します。 （初期設定：192.168.192.168）
SM	サブネットマスクを設定します。 （初期設定：255.255.255.0）
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。 （初期設定：255.255.255.255）

7 **テンキーでアドレスを入力し、［OK］ボタンで決定します。**

8 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

9 **本製品の電源を一旦切ってから、再度電源を入れます。**

本製品を再起動することによって、設定が有効になります。

以上で終了です。

次に Offirio SynergyWare ID Print をインストールして、認証装置の設定をします。

認証装置の設定

Offirio SynergyWare ID Print をインストールして、機器利用認証で認証装置が使えるように設定します。

Offirio SynergyWare ID Print のインストール

インストールの詳細な説明は、『Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド』を参照してください。

1 PRIFNW7S に添付の『ソフトウェア CD-ROM』（水色）をコンピュータにセットします。

参考

画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM ドライブ］アイコンの順にクリックして、［EPSetup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

2 ［Offirio SynergyWare ID Print のインストール］の［ ］をクリックします。



3 ［サーバ経由］の［ ］をクリックします。



4 ［サーバ用ソフトウェアのインストール］の［ ］をクリックします。



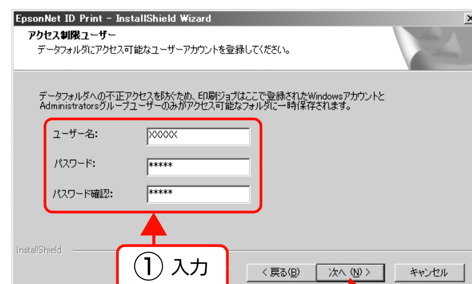
5 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

！重 要

Offirio SynergyWare ID Print をインストールするコンピュータに、ローカルユーザーとしてすでに存在するユーザーは作成できません。

参考

次の画面では、認証印刷の印刷ジョブを保存するためのフォルダにアクセス可能なWindowsのアカウントを作成します。ユーザー名パスワードに入力可能な文字や文字数は Windows の仕様に準じます。



以上で終了です。

次に設定ファイルを作成します。

設定ファイルの作成

［EpsonNet ID Print システム設定］を起動して、認証装置を使用できるように設定ファイルを作成します。

［EpsonNet ID Print システム設定］の詳細な説明は、『Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド』を参照してください。

1 **PRIFNW7S が接続された本製品の電源を入れます。**

本製品と通信可能な状態になっていないと設定できません。

> **参考**
> 本製品を起動してから約90秒程度経っていますか？（PRIFNW7S が起動するまで時間がかかります。PRIFNW7S が正常起動すると、プリントモードのアイコンが、アイコンに変わります。）

2 **［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EpsonNet］-［EpsonNet ID Print］-［EpsonNet ID Print システム設定］の順にクリックします。**

3 **［OK］をクリックします。**

初めて［EpsonNet ID Print システム設定］を起動したときは、管理者を登録します。

2 回目の起動以降は、ログイン画面が表示されますので、手順 8 へ進みます。



4 **もう一度［OK］をクリックします。**

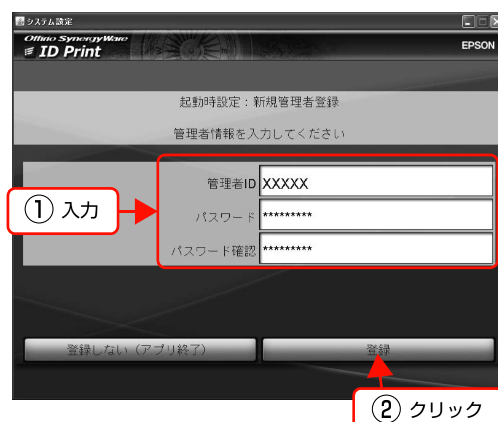


5 **［管理者 ID］、［パスワード］、［パスワード確認］をそれぞれ入力して［登録］をクリックします。**

管理者 ID は半角英数、5 ～ 10 文字。

パスワードは半角英数、5 ～ 10 文字。英字と数字をそれぞれ 1 文字以上使用してください。

いずれも、大文字、小文字は区別して認識されます。



6 **［OK］をクリックします。**



7 ［OK］をクリックします。



8 ［管理者ログオン］画面で管理者IDとパスワードを入力して、［確定］をクリックします。

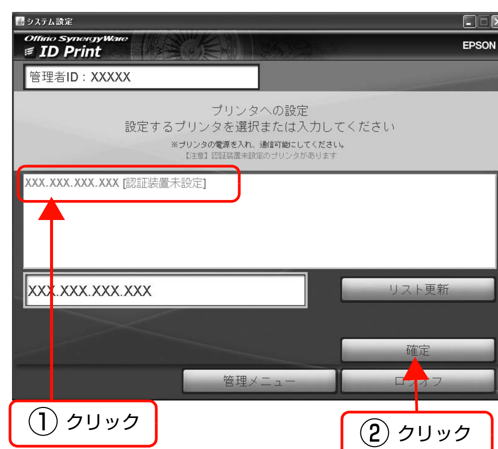


9 ［プリンタ設定］をクリックします。

警告画面が表示されたときは、[OK] をクリックして閉じます。



10 本製品に接続したPRIFNW7SのIPアドレスを選択して、［確定］をクリックします。



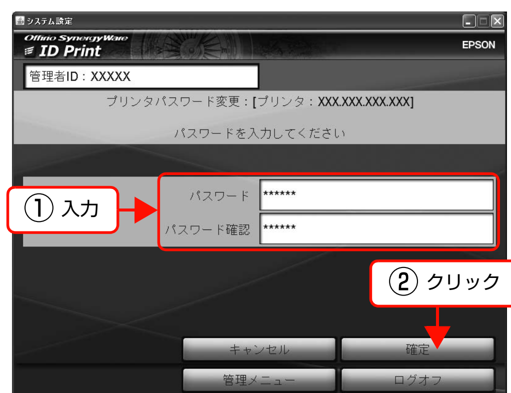
11 ［OK］をクリックします。

PRIFNW7S にプリンタパスワードが登録されているときは、プリンタパスワードの入力画面が表示されます。プリンタパスワードを入力して [OK] をクリックし、手順 14 に進みます。



12 ［パスワード］、［パスワード確認］をそれぞれ入力して、［確定］をクリックします。

パスワードは半角英数、5 ～ 10 文字。英字と数字をそれぞれ 1 文字以上使用してください。大文字、小文字は区別して認識されます。

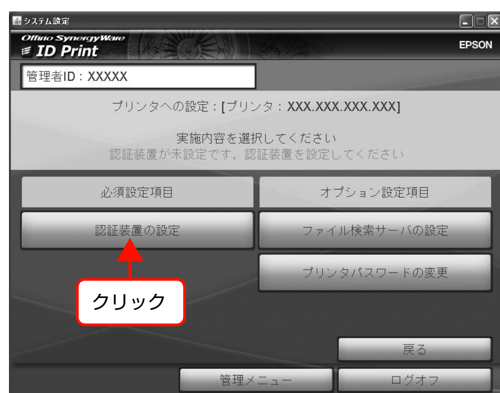


13 ［OK］をクリックします。



14 ［認証装置の設定］をクリックします。

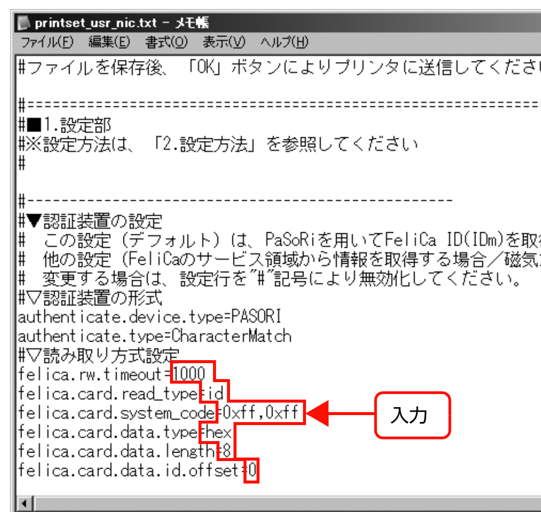
テキストエディタで設定ファイルが開きます。



15 認証装置を使用するために、設定ファイルの記述を書き換えます。

USB 接続の PaSoRi を使用する場合の手順を例に説明します。その他の認証装置を使用する際の記述は、設定ファイルの下部に記載されている説明か、『Offirio SynergyWare ID Print 管理者ガイド』を参照してください。
初期設定では PaSoRi が使用できる設定になっています。

カードに保存されている情報に応じて入力します。1 文字でも異なる数字を入力すると正常に動作しません。
記述の前の＃は、記載をコメントアウトする記号です。使用する認証装置の設定値の先頭に＃がある場合は削除します。



設定項目	説明
felica.rw.timeout	FeliCa 読み取り開始から次の読み取りまでの時間（ミリ秒）。この時間内に入力されたものが有効となります。制限時間が短いと、カードを正しく読み込めません。500 ミリ秒以上を設定してください。
felica.card.read_type	FeliCa 読み取り形式（service / id）。FeliCa 情報のうちどこから情報を取得するかを設定します。service の場合 FeliCa のサービス領域から情報を取得します。id の場合 FeliCa ID を取得します。ユーザー識別情報を登録するときは、アルファベットは小文字で登録してください。
felica.card.system_code	FeliCa のデータが書き込まれているシステムコードを設定します。システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。

設定項目	説明
felica.card.service_code_list	felica.card.read_type が id のときは、この項目は不要です。FeliCa のデータが書き込まれているサービスコードを設定します。サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて「0x34,0x12」と記述してください。
felica.card.number_of_blocks	felica.card.read_type が id のときは、この項目は不要です。取得するデータのブロック数を設定します。1 ブロック 16 バイトです。
felica.card.data.type	FeliCa に記録されている情報の読み取り形式を指定します (char / hex)。 char の場合 : 取得したデータを 1 バイトごとに、文字コードとして文字変換します。 hex の場合 : 取得したデータを 1 バイトごとに、16進文字列として2文字に変換します。ユーザー識別情報を登録するときは、小文字のみで登録してください。
felica.card.data.length	FeliCa から読み取る全文字列の長さ。felica.card.read_type が service のときは、felica.card.number_of_blocks の 16 倍の値を設定してください。
felica.card.data.id.offset	認証に利用する文字列の開始バイト。0 ～(felica.card.data.length-1)の範囲の整数値を指定してください。
felica.card.data.id.length	認証に利用する文字列のバイト長。1 ～felica.card.data.length の範囲の整数値を指定してください。

参考

felica.card.read_type=service の場合 :
入力文字列 "0123456789ABCDEF" で "ABCDE" を認証情報として利用するとき、A は左端から数えて 10 番目（数え始めは 0 です）ですから、設定は以下のようになります。
＜設定例＞
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
felica.rw.timeout=2000
felica.card.read_type=service
felica.card.system_code=0x12,0x34
felica.card.service_code_list=0x34,0x12
felica.card.number_of_blocks=1
felica.card.data.type=char
felica.card.data.length=16
felica.card.data.id.offset=10
felica.card.data.id.length=5

felica.card.read_type=id の場合 :
8 バイトの IDm を 16 進数の文字列表記にした情報を印刷ファイルのユーザー名として利用するとき、返却する IDm は以下のようになります。
例 : 010105016806920c
以下の設定例を変更せずにそのままご使用ください。
＜設定例＞
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
felica.rw.timeout=2000
felica.card.read_type=id
felica.card.system_code=0xff,0xff
felica.card.data.type=hex
felica.card.data.length=8
felica.card.data.id.offset=0
felica.card.data.id.length=8

機器利用認証をする際は authenticate.type の値を必ず CharacterMatch にしてください。

16 設定ファイルを保存して、テキストエディタを閉じます。

17 [OK] をクリックします。



18 [OK] をクリックします。



19 [OK] をクリックします。



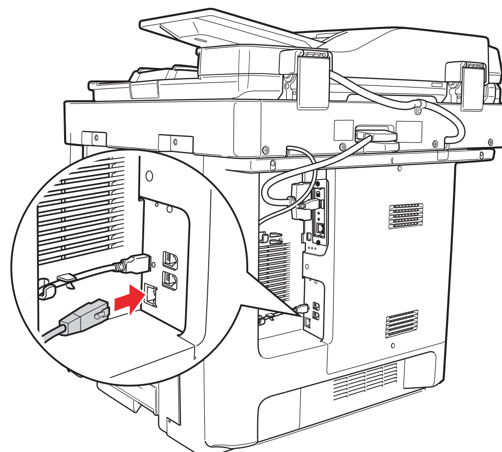
20 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

以上で終了です。
次に認証モードの設定をします。

認証モードの設定

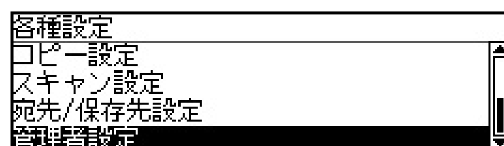
機器利用認証機能を有効にします。

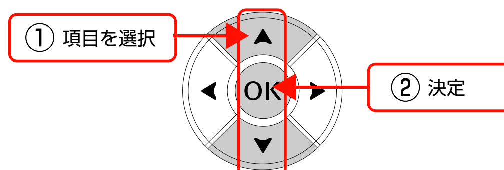
1 PRIFNW7Sに接続していたLANケーブルを抜いて、標準のインターフェイスに接続し直します。



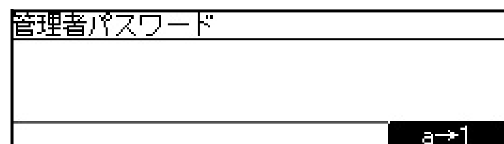
2 [各種設定] メニューが表示されていることを確認します。
[各種設定] メニューが表示されていないときは、[各種設定] ボタンを押してください。

3 [▲] または [▼] ボタンを押して [管理者設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。





4 管理者パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して [OK] ボタンを押します。パスワードが設定されていないときは、パスワードを入力しない状態で [OK] ボタンを押します。
パスワードはテンキーで入力します。



参考
- テンキーの数字とアルファベットは [a → 1] または [1 → a] に対応した [F4] キーを押して切り替えます。
- テンキーがアルファベット入力モードのときに繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。

5 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ユーザー認証機能］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

> 参考
>
> ［ユーザー認証機能］メニューが表示されないときは、次の点を確認してください。
> - オプションのネットワーク I/F カードは、PRIFNW7S ですか？
> - PRIFNW7S のファームウェアバージョンは 1.30 以上ですか？
>   最新のファームウェアはエプソンのホームページから入手できます（http://www.epson.jp)。
> - 本製品を起動してから約 90 秒程度経っていますか？（PRIFNW7S が起動するまで時間がかかります。PRIFNW7S が正常起動すると、プリントモードの アイコンが、 アイコンに変わります。）

6 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ユーザー認証：XX］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

7 **利用するユーザー認証のモードを選択して、［OK］ボタンを押します。**

モードによって利用できる機能が異なります。

設定項目	説明
しない	機器利用認証を利用しません。
認証ユーザーのみ許可	操作パネルから実行する機能は、ユーザー認証されると利用できます。 コンピュータから実行する機能は、認証印刷以外は利用できません。
ネットワークユーザーを許可	操作パネルから実行する機能は、ユーザー認証されると利用できます。 コンピュータから実行する機能は、ユーザー認証状態に関係なく常時利用できます。

操作パネルから実行する機能の例
- コピー機能
- スキャン to メール、スキャン to フォルダ、スキャン to メモリ
- ファクス送信
- USB メモリダイレクトプリント
  など

コンピュータから実行する機能の例
- 印刷（ネットワーク接続 /USB 接続 / 認証印刷）
- スキャン
- Offirio PC-FAX for MFP からの送信

以上で終了です。

続いて認証プロキシの IP アドレスの設定に進みます。

> 参考
>
> **認証モードの変更**
>
> 認証モードを変更するときは、次の手順に従ってください。
>
> 正常起動時
>
> ① ログインしているときは、［ログアウト］ボタンを押してログアウトします。
> ② 操作パネルに「認証してください」と表示されていることを確認します。
> ③ 手順 2 ～ 7 に従って、モードを変更します。
> ④ 本製品を再起動します。
>
> 正常に起動しなかった時（エラー発生時）
>
> ① 操作パネルの［閉じる］の表示に対応したキーを押して、エラー状態を解除します。
> ② 手順 4 ～ 7 に従って、モードを変更します。
>
> 本製品を再起動することによって、設定が有効になります。本製品を再起動してください。

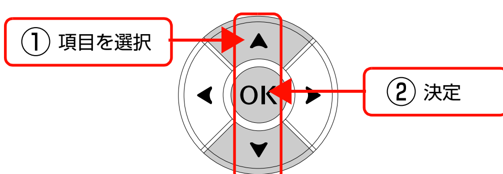
認証プロキシ IP アドレスの設定

認証プロキシ for MFPをインストールするサーバのIPアドレスを設定します。

1 **[ユーザー認証機能]メニューが表示されていることを確認します。**

2 **[▲]または[▼]ボタンを押して[認証プロキシ IP アドレス]を選択し、[OK]ボタンを押します。**





3 **「認証プロキシ for MFP」をインストールするサーバのIPアドレスをテンキーで入力し、[OK]ボタンを押して決定します。**

4 **モードの初期画面になるまで[戻る]ボタンを押します。**

5 **本製品の電源を切ります。**
本製品を再起動することによって、設定が有効になりますが、認証プロキシ for MFP のインストール前に電源を入れるとエラーが発生しますので、まだ電源を入れないでください。

以上で終了です。

次にサーバに認証プロキシ for MFP をインストールします。

認証プロキシ for MFP のインストール

! 重要

- 認証プロキシfor MFP をインストールする前にAdministrator 権限のユーザーを 1 名作成し、パスワードを設定してください(パスワードは必須)。
  手順 14 でサービス起動用アカウントとして入力します。
- ScanComposer と認証プロキシ for MFP は同じコンピュータにインストールできません。
- ScanComposer からユーザー情報をエクスポートしてアンインストールした後、認証プロキシ for MFP をインストールしてユーザー情報をインポートしてください。

認証プロキシ for MFP をインストールします。
手順は Windows Server 2003 を例に説明しています。

1 **『ソフトウェア CD-ROM』を CD-ROM ドライブにセットします。**

参考

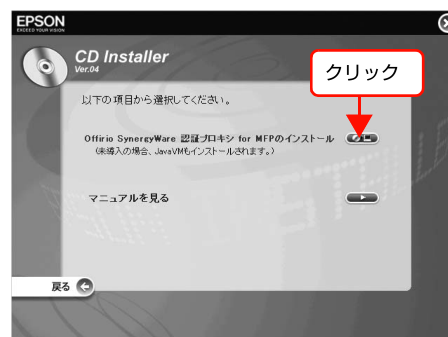
画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ]アイコンの順にクリックして[EPSetup.exe]アイコンをダブルクリックします。



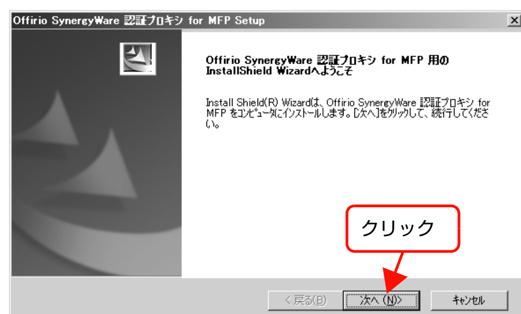
2 **[Offirio SynegyWare 認証プロキシ for MFP]の[ ]をクリックします。**



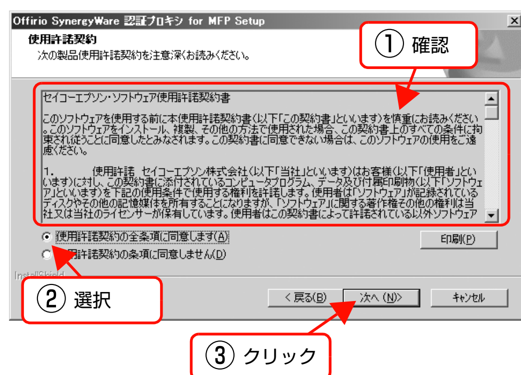
3 **[Offirio SynegyWare 認証プロキシ for MFP のインストール]の[ ]をクリックします。**



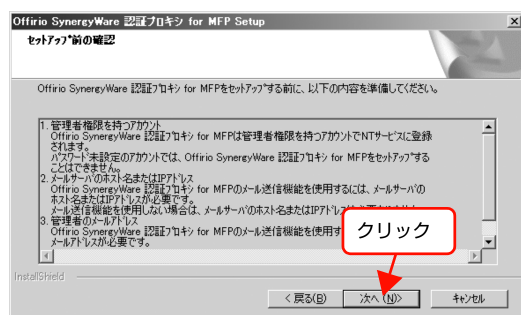
4 ［次へ］をクリックします。



5 内容を確認して、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。



6 画面の内容を確認して、［次へ］をクリックします。



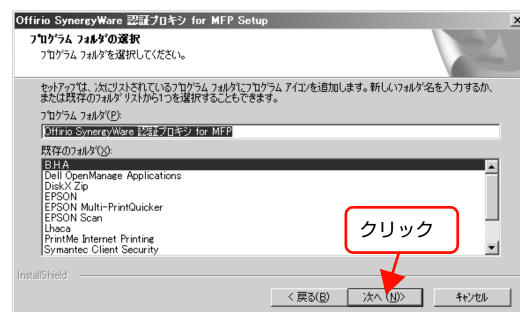
7 インストール先を確認して［次へ］をクリックします。

インストール先を変更するときは、［変更］をクリックしてください。



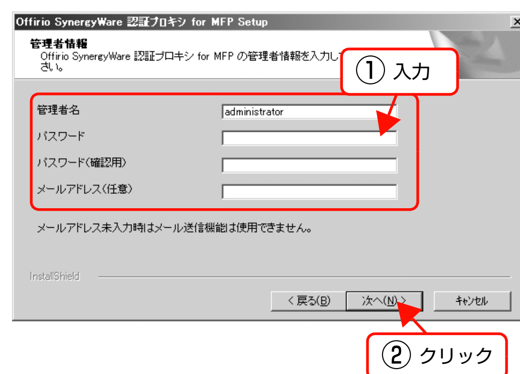
8 フォルダ名を確認して［次へ］をクリックします。

フォルダ名を変更するときは、フォルダ名を入力または既存のフォルダからクリックして選択してください。



9 ［管理者名］、［パスワード］、［メールアドレス］を入力して［次へ］をクリックします。

設定項目	説明
管理者名	認証プロキシ for MFP のログイン時に使用します。 半角英数字で30文字まで入力できます。初期値では administrator が入力されます。
パスワード	半角英数字で20文字まで入力できます。
メールアドレス	半角で 255 文字まで入力できます（スキャン to メール機能を利用する場合に入力してください）。



［メールアドレス］を入力したときは、次の手順へ進みます。
［メールアドレス］を入力しないときは、11 へ進みます。

10 ［管理者情報］画面で［メールアドレス］を入力したときは、［メールサーバ情報］を入力して［次へ］をクリックします。

設定項目	説明
送信メールサーバ情報	送信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 IP アドレスは、半角 15 文字まで入力できます。 ホスト名は、半角 255 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。
ポート番号	ポート番号を入力します。 初期設定は［25］です。
受信メールサーバ情報	受信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 IP アドレスは、半角 15 文字まで入力できます。 ホスト名は、半角 255 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。
ポート番号	ポート番号を入力します。 初期設定は［110］です。
タイムアウト時間	メールサーバとの通信タイムアウト時間を選択します。 初期設定は［30］です。
リトライ回数	メールサーバとの通信エラー発生後、再送受信する回数を選択します。 初期設定は［2］です。
リトライ間隔	メールサーバとの通信エラー発生後、再送受信する間隔を選択します。 初期設定は［15］です。
メール分割サイズ	送信するメールサイズを制限できます。制限を超えるメールは、分割して送信できます。 ［0］を選択すると、メールの分割送信は行われません。 初期設定は［1］です。

Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP Setup
メールサーバ情報
送信メールサーバ・受信メールサーバの情報を入力してください。
① 入力
送信メールサーバ情報(SMTP)
IPアドレスまたはホスト名
ポート番号 25
受信メールサーバ情報(POP3)
IPアドレスまたはホスト名
ポート番号 110
タイムアウト時間(秒) 30
メール分割サイズ(MB) 1
リトライ回数 2
0MBのときは分割なし
リトライ間隔(分) 15
InstallShield
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
② クリック

参考

メール送信時のユーザー認証として、POP before SMTP、APOP before SMTP、SMTP 認証をサポートしています。
SMTP 認証は、PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、Digest-MD5 の形式をサポートしています。

11 ［作業フォルダ］、［ログ出力フォルダ］、［共有イメージフォルダ］を確認して［次へ］をクリックします。

フォルダを変更するときは、［変更］をクリックしてください。
ネットワークドライブは指定できません。

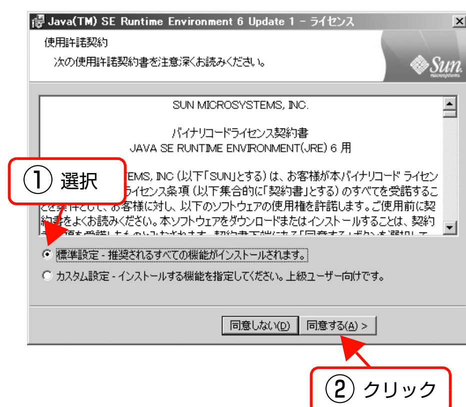
設定項目	説明
作業フォルダ	スキャンした画像データを一時的に保管するなど、テンポラリフォルダとして利用するフォルダです。
ログ出力フォルダ	レポートを保存するフォルダです。
共有イメージフォルダ	ファイル機能でスキャンした画像データ、送受信したファクスの画像データを保存しておくフォルダです。 画像データを保存する共通ファルダを指定していない場合は、自動的にこのフォルダに保存されます。

Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP Setup
フォルダ選択
① 選択
作業フォルダ
F:¥Program Files (x86)¥EpsonNet¥EpsonNet AuthProxy for MFP¥Work 参照(R)...
ログ出力フォルダ
F:¥Program Files (x86)¥EpsonNet¥EpsonNet AuthProxy for MFP¥Log 参照(R)...
共有イメージフォルダ
F:¥Program Files (x86)¥EpsonNet¥EpsonNet AuthProxy for MFP¥Image 参照(R)...
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
② クリック

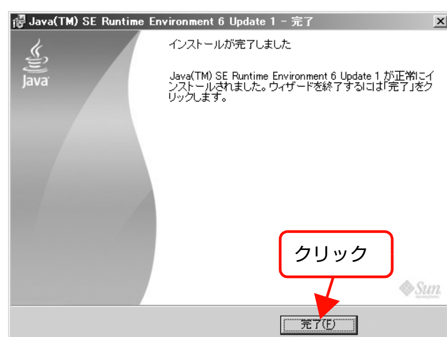
インストールが始まります。

12 **Java Runtime Enviroment をインストールします。内容を確認して、［同意する］をクリックします。**

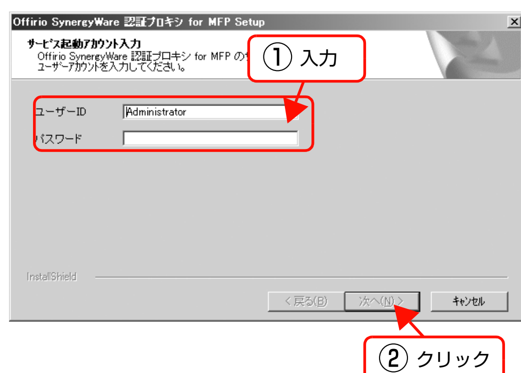
Java Runtime Enviroment は、認証プロキシ for MFP を動作させるのに必要なソフトウェアです。
すでに Java Runtime Enviroment がインストール済みのときは、手順 12 と 13 の画面は表示されません。手順 14 へ進みます。



13 **［完了］をクリックします。**



14 **サービス起動用の Windows［ユーザー ID］と［パスワード］を入力して、［次へ］をクリックします。**



15 **［完了］をクリックします。**



16 **プリンタの電源を入れます。**

以上で終了です。
次に認証プロキシ for MFP を起動します。

参考

認証プロキシ for MFP サービスの起動について

- 認証プロキシサービスは、インストール時に Windows のサービスとして登録、開始されます。そのため、認証プロキシサービスの起動に必要な作業はありません。
- 管理者が認証プロキシサービスを停止した場合は、以下の手順で起動してください。
  ①［スタート］-［コントロールパネル］(または［設定］-［コントロールパネル］)-［管理ツール］-［サービス］の順にクリックします。
  ②［EpsonNet Auth Proxy for MFP］をダブルクリックして［開始］をクリックします。

認証プロキシ for MFP の起動

認証プロキシ for MFP を起動します。

1 **［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EpsonNet］-［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP］-［Offir io SynergyWare 認証プロキシ for MFP へログイン］の順にクリックします。**

サーバと異なるコンピュータから認証プロキシ for MFP を起動させるには、Internet Explorer で以下のアドレスを入力します。

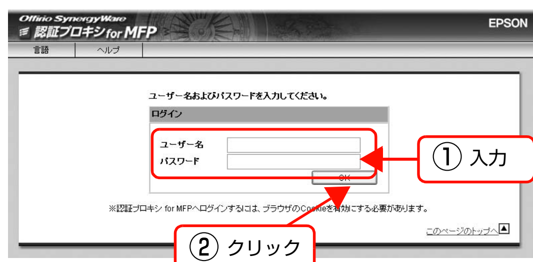
書式）http:// サーバの IP アドレスまたはホスト名 :2969/
例）http://192.168.XXX.XX:2969/

!重要

- 使用できる Web ブラウザは、Internet Explorer のみです。その他の Web ブラウザでは、ログインできません。
- Internet Explorer は Cookie を受け入れる設定にしてください。初期設定では、受け入れる設定になっています。

2 **管理者用のユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**

インストール時に設定した ユーザー名とパスワードです。忘れた場合は、認証プロキシ for MFP を再度インストールしてください。



以上で終了です。
次に環境設定をします。

環境設定

機器利用認証を利用するのに最小限必要な、共通フォルダと共通宛先を登録します。

参考

環境設定を始める前に、すべてのユーザーが環境設定で登録するフォルダにアクセスできるよう、フォルダのアクセス権限を設定しておいてください。

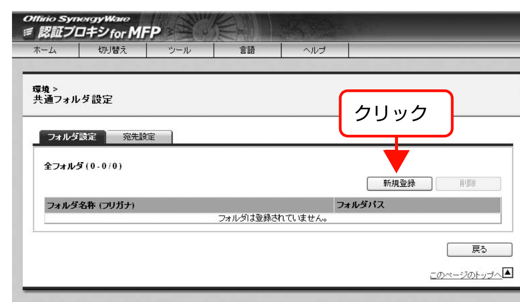
1 **［環境］タブをクリックします。**



2 **［フォルダ設定］をクリックします。**



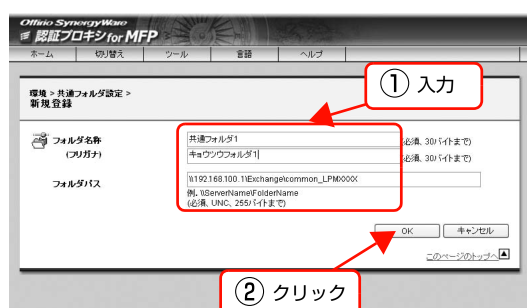
3 **［新規登録］をクリックします。**



4 **各項目を入力して、[OK] をクリックします。**

設定項目の詳細は、[ヘルプ] - [オンラインガイド] をクリックすると表示される認証プロキシ for MFP オンラインガイドを参照してください。

設定項目	説明
フォルダ名称	共通フォルダ名称を入力します。半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
フリガナ	共通フォルダ名称のフリガナを入力します。半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
フォルダパス	共通フォルダの場所を示すパスを入力します。必ず入力してください。半角 255 文字まで入力できます。 例）\\Server Name\Folder Name



5 **[宛先設定] をクリックします。**



6 **[新規登録] をクリックします。**



7 **各項目を入力して、[OK] をクリックします。**

設定項目の詳細は、[ヘルプ] - [オンラインガイド] をクリックすると表示される認証プロキシ for MFP オンラインガイドを参照してください。

設定項目	説明
宛先名称	共通宛先名称を入力します。半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
フリガナ	共通フォルダ名称のフリガナを入力します。半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。必ず入力してください。半角 255 文字まで入力できます。



8 **必要なフォルダと宛先の数だけ手順 3 ～ 7 を繰り返します。**

以上で終了です。

次にユーザー登録をします。

ユーザー登録

機器利用認証で認証するユーザーを登録します。

ここでは、1 名ずつ登録する手順を説明します。

!重要

- 認証印刷を使用する際は、認証プロキシ for MFP の［アカウント］情報とクライアントが送信する印刷ジョブに含まれる識別情報（Windows のログイン名または Offirio SynergyWare ID Print の［ユーザー識別情報］）を一致させてください。一致させないと認証印刷できません。
- 認証プロキシ for MFP の［カード個人識別情報］は、Offirio SynergyWare ID Print から［認証装置の設定］をクリックして、記述を変更した設定ファイルの指定に基づいて取得できる情報を入力します。
  本書 14 ページ「認証装置の設定」

参考

ディレクトリサーバに登録されているユーザーを認証したりエクスポートされているユーザー情報をインポートする方法は、認証プロキシ for MFP に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ［スキャンユーザー］タブをクリックします。



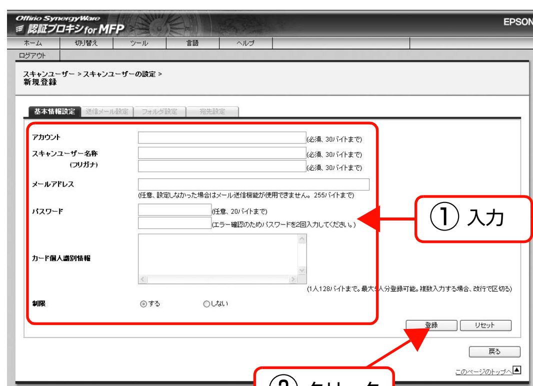
2 ［新規登録］をクリックします。



3 ［基本情報設定］タブの各項目を入力して、［登録］をクリックします。

設定項目の詳細は、［ヘルプ］-［オンラインガイド］をクリックすると表示される認証プロキシ for MFP オンラインガイドを参照してください。

設定項目	説明
アカウント	スキャンユーザーのアカウントを入力します。ユーザー認証時に必要になりますので、必ず入力してください。 登録したアカウントは、認証プロキシ for MFP でログインするときのログイン名になります。 半角 30 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。 認証印刷を使用する際は、クライアントが送信する印刷ジョブに含まれる識別情報（Windows のログイン名または Offirio SynergyWare ID Print の［ユーザー識別情報］）と一致させてください。一致していないと操作パネルに印刷ジョブが表示されません。
スキャンユーザー名称	スキャンユーザー名称を入力します。ユーザー認証時に必要になりますので、必ず入力してください。 ユーザーが自分のユーザー名であることを理解しやすい名称にしてください。 半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
フリガナ	スキャンユーザー名称のフリガナを入力します。ユーザー認証時に必要になりますので、必ず入力してください。 半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	スキャンユーザーのメールアドレスを入力します。 メール機能を使用するときのメールの送信者になります。 メール機能を使用する場合は、必ず入力します。
パスワード	スキャンユーザーのパスワードを入力します。登録したパスワードは、認証プロキシ for MFP にログインするときのパスワードになります。 半角 20 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。
制限	制限ユーザーにするかどうかを選択します。［する］を選択すると各ユーザーがフォルダやメールアドレスなどの情報の変更、登録ができません。
カード個人識別情報	認証装置から読み取ることのできる情報を入力します。ユーザー認証時に必要になりますので、必ず入力してください。 最大 5 つまでの情報を入力できます。複数名の情報を入力するときは改行で情報を区切ってください。1 つあたり半角 128 文字（全角 64 文字）まで入力できます。



ユーザーを登録するとユーザーごとのフォルダや宛先が登録できます。各項目の詳細は、認証プロキシ for MFP オンラインガイドをご覧ください。

4 **必要なユーザーの数だけ、手順 3 を繰り返します。**

5 **必要に応じて、本製品を利用するクライアントに登録情報を連絡します。**

以上で終了です。

次に個人設定をします。

個人設定

機器利用認証では、スキャンした画像を保存するフォルダやメールで送信する宛先をユーザーごとに登録できます。

設定の方法には、次の２つの方法があります。

管理者が設定する

管理者が各ユーザーのフォルダやアドレスを登録します。

1 **管理者ユーザーで認証プロキシ for MFP にログインします。**

2 **[スキャンユーザー] タブをクリックします。**



3 **設定するユーザーをクリックします。**



4 **各情報を変更、登録、削除します。**

各項目の詳細は、認証プロキシ for MFP オンラインガイドをご覧ください。



各ユーザーが設定する

管理者から取得したアカウントで認証プロキシ for MFP にログインし、作業環境を設定します。

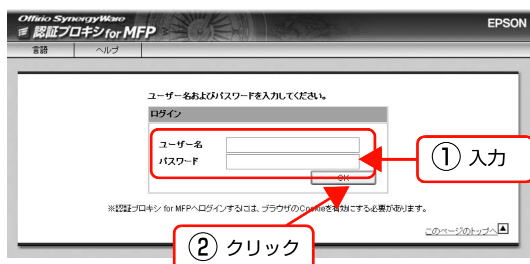
管理者が各ユーザーを制限ユーザーに設定すると、各ユーザーは設定変更できません。

設定項目	説明
一般ユーザー	自分自身の設定やスキャン履歴など参照 / 変更できるユーザーです。
制限ユーザー	自分自身の設定やスキャン履歴などを参照のみできるユーザーです。

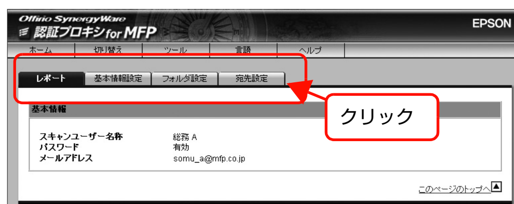
1 **認証プロキシ for MFP を起動します。**

☞ 本書 25 ページ「認証プロキシ for MFP の起動」

2 **ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。**

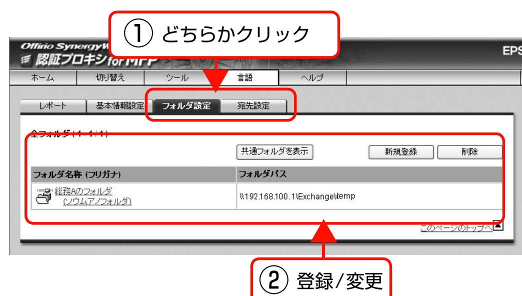


3 **設定を変更するタブをクリックします。**



4 **各情報を変更、登録、削除して [登録] をクリックします。**

各項目の詳細は、認証プロキシ for MFP オンラインガイドをご覧ください。



以上で終了です。

ユーザー認証の使い方

機器利用認証の使い方

機器利用認証の手順を説明します。

1 ログイン可能であることを確認します。

認証ユーザーのみ許可の場合：本製品が印刷、スキャンの動作中、ファクスの送受信中でないことを確認します。

ネットワークユーザーを許可の場合：本製品がスキャンの動作中でないことを確認します。

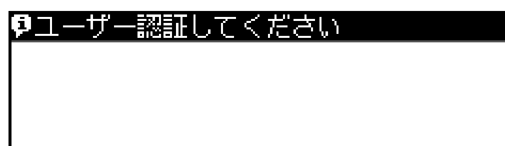
> **参考**
> 操作パネルにエラーが表示されているときは、次のページをご覧ください。
> 本書 32 ページ「困ったときは」

2 認証装置にカードなどを通して認証IDを認証プロキシ for MFP へ送信します。

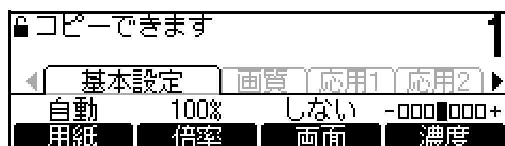
3 本製品の操作パネルが次のように表示されることを確認します。

エラーメッセージが表示されたりして機能が利用できないときは、次のページをご覧ください。

本書32ページ「操作パネルにメッセージが出る」

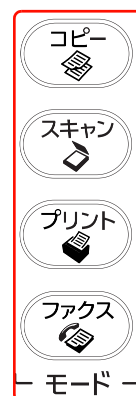






4 利用したい機能を実行します。

各機能の詳細は、『取扱説明書２ 使い方編（冊子）』をご覧ください。



5 終了したら［ログアウト］ボタンを押します。

ログアウトして、機器利用認証前の画面に戻ります。





先に「通信中です」と表示されることがあります。

エラーメッセージが表示されたりして機能が利用できないときは、次のページをご覧ください。

本書32ページ「操作パネルにメッセージが出る」



以上で終了です。

認証印刷の使い方

認証印刷の手順を説明します。

> **参考** 本書の手順だけでは、認証印刷できません。Offirio SynergyWare ID Print の取扱説明書をご覧いただき、必要に応じてクライアント、サーバの設定をしてください。

1 **お使いのコンピュータで認証印刷を実行します。**

認証印刷実行の方法は、『Offirio SynergyWare ID Print 利用者ガイド』を参照してください。

2 **認証装置にカードなどを通して認証IDを認証プロキシ for MFP へ送信します。**

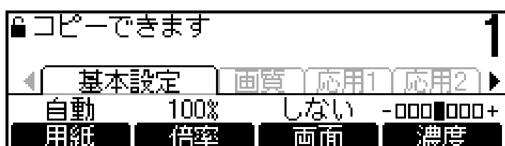
3 **本製品の操作パネルが次のように表示されることを確認します。**

エラーメッセージが表示されたりして機能が利用できないときは、次のページをご覧ください。

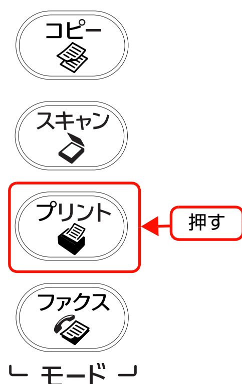
☞ 本書32ページ「操作パネルにメッセージが出る」





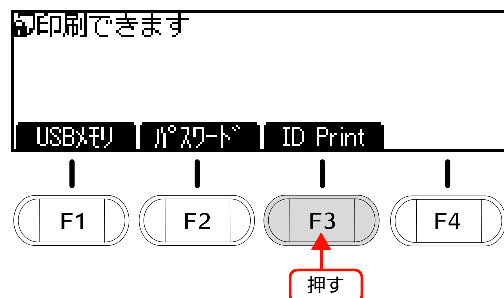


4 **［プリント］ボタンを押します。**



5 **[ID Print] に対応した [F3] ボタンを押します。**

印刷が実行されます。



6 **印刷が終了したら、［ログアウト］ボタンを押します。**

ログアウトして、機器利用認証前の画面に戻ります。



以上で終了です。

困ったときは

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどの対処方法を記載しています。

操作パネルにメッセージが出る

認証機能利用時に表示されるメッセージです。

インフォメーションメッセージ

メッセージ	説明
印刷可能なファイルがありません	印刷ファイルを検索しましたが、見つかりませんでした。
印刷完了しました	認証印刷が完了しました。
印刷しています XXX 件中 残り XXX 件	認証印刷のファイルを印刷中です。
ジョブ実行中または設定中のためログアウトできません	ジョブまたは設定が終了してから、ログアウトし直してください。
ジョブ実行中または設定中のためログインできません	ジョブまたは設定が終了してから、ログインし直してください。
タイムアウトによりログアウトされました	一定時間アクセスがなかったためログアウトされました。もう一度ログインしてください。
通信中です	認証プロキシ for MFP と通信しています。
認証 ID の読み取りに失敗しました 認証 ID を読み込み直してください	認証装置でユーザー情報が読み取れませんでした。再度、実行してください。
認証システム起動確認中	認証システムの起動を確認しています。起動するまでしばらくお待ちください。
認証プロキシがビジー状態です	しばらく経ってからログインし直してください。
認証プロキシとのセッションが失われました	ログイン中に認証プロキシ for MFP との接続が途切れました。ログインし直してください。
認証プロキシのディスク容量が少なくなっています	認証プロキシ for MFP がインストールされているサーバのディスク空き容量を増やしてください。
ファイル確認中	ネットワーク上の認証印刷ファイルを確認しています。
他の機器で ID Print を実施中です	他の機器で ID Print（認証印刷）が実行されていないことを確認してから、再度 ID Print を実行してください。
ユーザー認証してください	機器利用認証を含めたユーザー認証が可能な状態です。
ユーザー認証中です	認証装置で読み取った情報を認証プロキシ for MFP で確認中です。

エラーメッセージ

メッセージ	説明	
ID Print に失敗しました XXXXXXXX	なし 00009020	Offirio SynergyWare ID Print サーバに接続できない、またはエラーが発生しました。接続を確認してください。接続が正しいときは、Offirio SynergyWare ID Print がインストールされているサーバを再起動させてください。
	00009021	Offirio SynergyWare ID Print でエラーが発生しています。インストールされているサーバを再起動させてください。
ID Print の起動に失敗しました	Offirio SynergyWare ID Print が起動できませんでした。認証装置が正しく動作しているか確認してください。	
該当するユーザーがいません XXXXXXXX	なし	認証プロキシ for MFP またはディレクトリサーバに認証 ID を登録したユーザーを作成してください。
	00009001	認証プロキシ for LDAP に接続できませんでした。接続を確認してください。接続が正しいときは、認証プロキシ for LDAP を再起動させてください。
	00009002	認証プロキシ for LDAP でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP に付属の取扱説明書を参照して対処してください。
認証装置動作エラー	認証装置が正しく接続または設定されていないか認証装置が正常に動作していません。認証装置に付属の取扱説明書を参照して対処してください。	
認証プロキシエラー XXXXXXXX	なし	認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for MFP を再起動してください。
	00004110	認証プロキシ for MFP で登録できるユーザー数を超えました。認証プロキシ for MFP に登録されているユーザーを削除してください。
	00004011	本製品を再起動してください。再度発生するときは本製品のファームウェアのアップデートが必要です。
	00004012	本製品を再起動してください。再度発生するときは本製品のファームウェアのアップデートが必要です。
	00005000	認証プロキシ for MFP に必要なファイルがみつかりません。認証プロキシ for MFP を再インストールしてください。
	00005010	認証プロキシ for MFP で使用可能なディスク容量がありません。サーバのディスクの空き容量を増やしてください。
	00005011	サーバのディスクへの書き込みができませんでした。書き込み可能な状態にしてください。
	00005020	認証プロキシ for MFP が利用できるメモリ容量が不足しています。認証プロキシ for MFP を再起動してください。
	00005030	ネットワークエラーです。認証プロキシ for MFP と本製品を再起動してください。
	00005050	認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for MFP を再起動してください。
	00009003	認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for MFP を再起動してください。
	00009004	認証プロキシ for LDAP に接続できない、または認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP との接続を確認してください。接続が正しいときは、認証プロキシ for MFP を再起動してください。
	00009005	認証プロキシ for LDAP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP を再起動してください。

メッセージ	説明	
認証プロキシエラー XXXXXXXX （続き）	00009006	ディレクトリユーザーのアカウントが 30Byte を超えているため認証プロキシ for MFP に登録できません。ディレクトリサーバ上のアカウント名を 30Byte 以下にしてください。
	00009011	他のユーザーがログイン中です。他のユーザーがログアウトしてから再度ログインしてください。
	0000F000	本製品を再起動してください。再度発生するときは本製品のファームウェアのアップデートが必要です。
認証プロキシ接続エラー	認証プロキシ for MFP に接続できません。認証プロキシ for MFP が起動しているか確認してください。 認証プロキシ for MFP がインストールされているサーバが起動しているか、認証プロキシ for MFPのサービスが開始されているか確認してください。認証プロキシ for MFP を起動してログイン画面が表示されれば、認証プロキシ for MFP サービスは起動しています。認証プロキシ for MFP サービスが起動していないときは、［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EpsonNet］-［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP］-［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP の開始］の順にクリックします。 本製品の設定で、認証プロキシ for MFP をインストールしたサーバの IP アドレスの設定があっているか確認してください。 本書 13 ページ「IP アドレスの設定」	
認証プロキシをバージョンアップしてください	本製品に対応した認証プロキシ for MFP ではありません。本製品の『ソフトウェア CD-ROM』に収録されている認証プロキシ for MFP をインストールし直してください。	

操作パネル上で変更される項目

ユーザー認証されると本製品の操作パネルに表示される項目が増えるなど一部機能が変更されます。

ログイン機能

以下の項目が追加表示されます。

項目	説明
ログインユーザー名	認証プロキシ for MFP で登録されているユーザーのアカウントが表示されます。 操作パネルの［状態確認］ボタンを押してから、［状態確認］に対応する［F1］ボタンを押します。［▼］ボタンを押して表示を切り替えると最後の項目に表示されます。

スキャン to フォルダ機能

宛先帳の情報が、認証プロキシ for MFP で登録されている情報に置き換わります。プリンタ本体に登録した情報は使用できません。

項目	説明
共通共有フォルダ	認証プロキシ for MFP で登録されている共通フォルダが表示されます。
ログインユーザー指定のフォルダ	認証プロキシ for MFP で各ユーザーが登録したフォルダが表示されます。

スキャン to メール機能

宛先帳の情報が、認証プロキシ for MFP で登録されている情報に置き換わります。プリンタ本体に登録した情報は使用できません。

項目	説明
共通メールアドレス	認証プロキシ for MFP で登録されている共通アドレスが表示されます。
ログインユーザー指定のメールアドレス	認証プロキシ for MFP で各ユーザーが登録したメールアドレスが表示されます。